



「匠の国ぎふ」の技を支える道具展

「清流の国ぎふ」文化祭2024

日時 令和6年10月14日(月・祝)～11月24日(日)
場所 飛騨・世界生活文化センター
主催 岐阜県
共催 飛騨コンソーシアム

第39回国民文化祭 第24回全国障害者芸術・文化祭
「清流の国ぎふ」文化祭2024
ともに・つなぐ・みらいへ ～清流文化の創造～
2024年10月14日(月・祝)～11月24日(日)

発行日／令和7年2月 発行者／岐阜県 所屬／文化伝承課
印刷・製本／株式会社ゴーアヘッドワークス

「匠の国ぎふ」の技を支える道具の保存伝承





岐阜の匠の技を支える 道具に触れた42日間。

岐阜県は古来より山紫水明の自然に恵まれ、豊かな森を源とする「清流」が県内をあまねく流れています。その「清流」は、飛騨の木工芸、美濃和紙、関の刃物、東濃の陶磁器など匠の技を磨くとともに、千有余年の歴史を誇る鵜飼、ユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事（高山祭、古川祭、大垣祭）」、「風流踊（郡上踊、寒水の掛踊）」など、世界に誇る伝統と文化を育んできました。

こうして受け継がれてきた「匠の国ぎふ」の伝統技術を継承していくためには、職人等の育成に加え「道具」の確保が課題となっています。本道具展では、県内地場産業で使われている道具の重要性と、その道具が生み出す製品の魅力を紹介し、多くの方にご来場いただきました。今後、本県の伝統技術が次の世代へ受け継がれていくことを強く願っています。

展示数 615点（道具444点、製品171点）

来場者数 4,135人



木工

岐阜県は、緑豊かな森に恵まれ、その森は代々県民によって守り受け継がれてきました。飛騨地方では古くから木工技術が発達しており、奈良時代には木工技術者を都に送ることによって税に充てる全国唯一の「飛騨工（ひだのたくみ）制度」がありました。現在もその高い技術は、古い町並みで見られる美しい木造建築をはじめ、様々な場所で受け継がれています。また、職人の「木を生かす」技術や感性、工程ごとに様々な種類の道具を駆使して生み出す技は、彫刻や漆塗り、金箔で飾られている「祭屋台」や、希少な一位の木を鑿や彫刻刀を使い丁寧に彫り上げる「一位一刀彫」、木目を生かした漆の仕上げが特徴の「飛騨春慶」などにも受け継がれています。

世界の 大工道具

鉋（かんな）

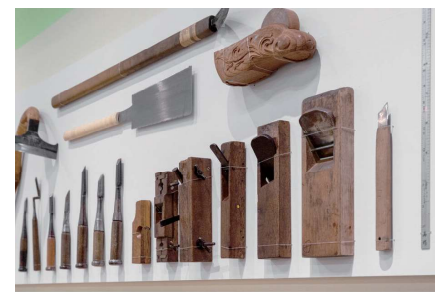
槍鉋（やりがん）



祭屋台



▲式年造営「御用材伐採」の道具と切株



▲伝統建築の道具



▲高山陣屋の屋根模型



▲祭屋台部品と道具



▲一位一刀彫の道具



▲一位一刀彫



▲飛騨春慶の道具



▲輪島塗の道具



▲飛騨春慶



▲輪島塗

本道具展では、「能登半島地震」の復興への思いを込め、石川県の伝統的工芸品(漆器)の一つである輪島塗の技と道具を展示。





日本刀の鍛冶場再現

刃物

岐阜県の中央部に位置する関市では、鎌倉時代に刀づくりに欠かせない松炭、水、土に恵まれたことで多くの刀鍛冶が移り住み、最盛期には300人以上の刀匠を有する刀の産地(美濃伝)として栄え、その刀は「折れず、曲がらず、よく切れる」と多くの武将たちに愛されました。今でも美術品としての価値の高い工芸品として、刀匠をはじめ白銀師、柄巻師、鞘師、研師などの職人の技が凝縮された日本刀が作られています。また、こうして生まれた技法とモノづくりの精神は、現在の関の刃物づくりに引き継がれ、包丁、カミソリ、ハサミ、台所・食卓用刃物など高品質な家庭用刃物を製造し、「世界の三大刃物産地」の一つとして海外でも広く知られています。



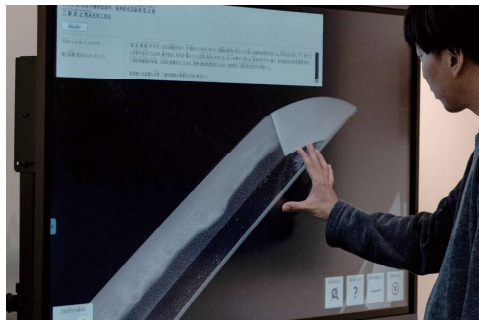
日本刀の刀装具



▲ 日本刀の道具



▲ 包丁



▲ 刀剣鑑賞システム「刀剣鑑賞自由自在」



▲ 刃物製品



日本刀

日本刀ができるまで



日本刀は、長い歴史を持つ伝統的な武器であり、美術品としても高く評価されています。その製作には、長い年月と熟練の技術が必要です。日本刀の製作には、鍛冶、研削、柄巻、鞘作りなどの工程があります。また、日本刀には、さまざまな種類があり、それぞれの特徴があります。日本刀は、日本の文化と歴史を象徴する存在であり、世界中の人々に愛されています。

和紙

美濃和紙は、美濃の豊かな自然、長良川、板取川の清流に育まれ、1,300年の伝統を今に受け継ぎ、縦揺りに横揺りを加えた独特の技法により生み出されます。柔らかみのある繊細な風合いをもちながら、強靱で耐久性があり、薄くムラがないことが魅力です。紙すきの時に使う「箕」や「桁」、紙を乾燥させる時に使う「刷毛」などを作る職人は全国でも数えるほどしかいませんが、県内にはすべての職人が揃っています。美濃和紙は古くから障子紙や表具用紙に使われてきましたが、長良川流域では、岐阜和傘や岐阜提灯などにも用いられ、独自の伝統産業の発展につながりました。美濃和紙の薄さ、強靱さ、均質さなどの品質の高さは世界でも認められており、国内だけでなく世界各国の著名な博物館等でも、古文書や絵画など国宝級の文化財の修復に使用されています。



▲和紙の道具



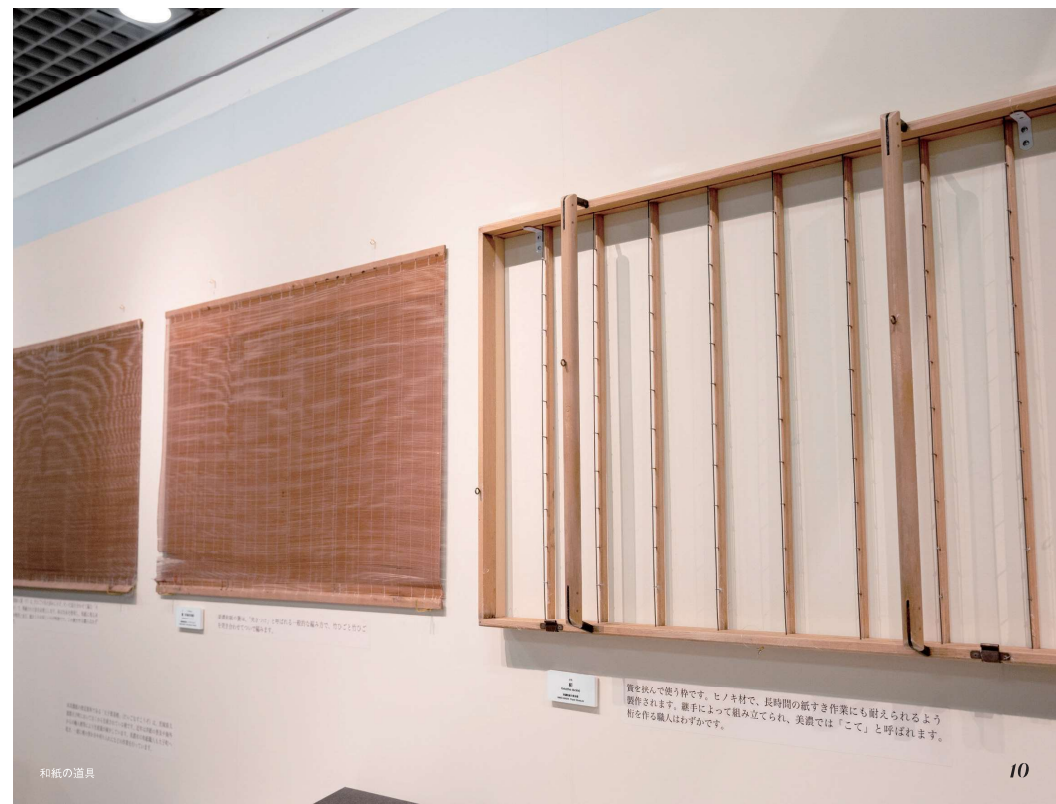
▲本美濃紙



▲和紙の道具



▲和紙製品

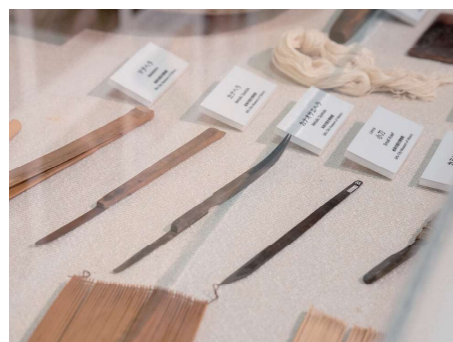


和紙の道具

質を絞って使う作です。シノ材で、長時間の紙すき作業にも耐えられるよう製作されます。縦手によって組み立てられ、美濃では「こて」と呼ばれます。形を作る職人はわずかなです。



▲和傘の道具



▲和傘の道具



岐阜提灯



▲提灯の道具



▲提灯の道具





陶器を再現



陶磁器

美濃焼は、東濃地域の主に多治見市、土岐市、瑞浪市、可児市で生産されてきたやきものの総称です。この地域では、陶磁器を作る時に必要となる良質な粘土と水、薪となる赤松林、窯に適した緩やかな丘陵地に恵まれ、陶磁器生産は、国内シェアの50%以上を占めています。時代を経るごとに新しい技術を築き、美術的価値の高い陶芸品から日常で使う家庭用の食器まで、様々な形、色彩の焼物を誕生させてきました。この多種多様さが美濃焼の特徴です。陶芸家が使用するへらや絵付けの筆などの道具は、作りたい器に応じて自分で作ったり加工したりするため、同じ道具でも人が違えば形も使い方も異なります。これまで培われた技術と精神は、多くの陶芸家に受け継がれ、現在も個性的なやきものを生み出しています。



▲陶磁器の道具



▲陶磁器の道具



▲陶磁器の道具



道具がなければ、
伝統の技術を次の世代へ
つなげられない。

県内の職人から道具が入手しづらくなったという声があったことをきっかけに、岐阜県では2019(令和元)年度から5年間にわたり、全国の道具鍛冶職人の実態調査を行いました。木造建築や木工などの手道具を作る打刃物産地を訪ね、できる限り対面で聞き取り調査を進めました。

調査件数(2019～2023)

道具の作り手(鍛冶職人など)	173 人
道具の使い手(大工・木工職人など)	82 人
道具のつなぎ手(組合・小売店など)	34 人

調査地域

新潟県長岡市・三条市

兵庫県三木市

高知県香美市・南国市 など



明らかになった 危機的な状況

調査の結果、道具を作る鍛冶職人をめぐる状況は予想以上に危機的であることが分かりました。すでに影響は岐阜県内の伝統技術継承の現場にも及び始めています。

- 鍛冶職人の高齢化と減少
- 後継者を育てる仕組みの欠如
- 道具の需要の減少
- 鍛冶職人を支えるネットワーク・組織の不在

人・道具・原材料の課題解決を 支援する新しい事業をスタート

5年間に及ぶ調査を経て、岐阜県では今年度から「匠の国ぎふ」の技を支える相談事業」をスタートしました。人(後継者)・道具・原材料などの課題の相談をワンストップで受け付け、解決につながる情報を提供したり、関係する人や組織につないだり、詳細調査を行ったり、課題解決を支援したりする業務を行います。

相談受付

情報提供

詳細調査

課題解決
支援



ご相談はウェブサイト・メール・電話で受け付け

県では、相談事業を「一般社団法人技の環」に委託しています。職人や関係者からのご相談は、技の環のウェブサイト、メール、電話で受け付けていますので、お困りの際はお気軽にご相談ください。

WEB ginowa.org/support

MAIL contact@ginowa.org

TEL 080-4401-6872



道具展関連 イベント

かんな 鉋削り体験

伝統建築などで使われる「鉋」を使って木を削るワークショップを10月20日(日)と11月17日(日)の2日間、飛騨・世界生活文化センターのふれあい広場に開催。



くれ 樽へぎイベント

文化財の保存修理を担う職人と鍛冶職人との技術継承に関するトークイベントと、高山陣屋など、飛騨の伝統的建造物に使われる樽(くれ)板[屋根板]に関するワークショップ等を高山市[10月19日(土)～20日(日)]と関市[11月3日(日・祝)]で開催。

※樽板は「樽へぎ」という伝統技術で作ります。



展示リスト

道具・製品等

木工

大鋸(オガ)	2点
斧(オノ・ヨキ)	2点
ガンド(横挽鋸)	1点
窓鋸(マドノコ)	1点
鉋(マヤカリ)	2点
鉋(ナタ)	1点
手鋸(テノコ)	1点
蔵(トビ)	1点
鎌(カマ)	1点
カナヤ	1点
鋸(ノコギリ)(背衝型)	1点
斧(式年遺宮)	3点
切り株(式年遺宮)★	1点

指金(サシガネ)	1点
鉋(ノコギリ)	1点
小刀	1点
鑿(ノミ)	9点
鉋(カンナ)	7点
鉋(チョウナ)	1点
鉋鉋(ヤリガンナ)	1点
墨壺(スミツボ)	3点
カスガイ	2点
大鋸鉋(オオウリナタ)	1点
万力(マンリキ)	1点
鎌(挿へぎ用)	1点
側鉋(ソバサタ)	1点
鉋(セン)	1点
鋸手★	3点
細木★	3点
千鳥格子★	1点
細子細工★	8点
高山障壁看板★	1点
高山障壁屋根模型★	1点

鉋	6点
鑿	5点
彫刻刀	5点
環瑠部品	4点
指金(サシガネ)	1点
鉋(ヤスリ)	2点
火箸(ヒバシ)	2点
墨壺、墨指	2点
背り鋸引き	2点
打ち抜き鑿	6点
手鉋(テツチ)	1点
祭壇台車輪部品(一部)★	1点
東山白山神社神楽台の彫刻★	1点
日枝神楽台の彫刻★	2点

鑿	8点
彫刻刀	58点
手鉋★	1点
足鉋★	1点
ねずみ★	1点
一位一刀彫工程一式★	1点

鉋	4点
挽物カンナ	5点
漆かき	2点
漆型	1点
木べら	3点
刷毛	6点
木地(板、小物入れ)★	3点
重箱★	1点
櫛★	1点
盆★	1点
箸★	1点
飛騨春慶工程見本一式★	1点

大鋸(オオツチ)	1点
金床(カナドコ)	1点
手鉋(テツチ)	1点
鑿(フイコ)	1点
火ばし	1点
火かき棒	1点
松炭	1点
焼刀土	1点

刃物

玉鋼	1点
へし	1点
折り返し鋸鎌	1点
てこ棒	1点
セン	3点
タガネ、ハンマー	13点
焼き入れ木櫛(刀身用)	1点
研砥、研ぎ台、磨きえ木	3点
研ぎ棒(磨き棒)	1点
砥石(トイシ)	9点
土置き台、土置き台	2点
鞘師鑿、小刀	4点
日本刀工程見本(素延べ)★	1点
日本刀工程見本(火造り)★	1点
日本刀工程見本(土置き)★	1点
日本刀工程見本(焼き入れ)★	1点
白鞘工程見本一式★	1点
刀剣鑑賞自由自在★	1点

包丁	SEBASTIAN CONRAN GIFU COLLECTION★	8点
	三徳包丁(開孫六)★	1点
	牛刀包丁(Misono440)★	1点
	出刃包丁(正広作)★	1点
	シェフナイフ包丁(蘭)★	1点
	パン切ナイフ(せせらぎ)★	1点
	KISEKI三徳★	1点

ナイフ	尾上刀★	1点
	1050★	1点
	スパイダルコ エンデュラ4 ZDP189★	1点
	SEKI CUT SC-160/C-BC★	1点
	BH650★	1点
	アスロンムリエナイフ★	2点

刃物製品	スキバサミ★	1点
	カットはさみ★	1点
	ラシャ鉋★	1点
	ギターバサミ★	1点
	キッチンバサミ★	2点
	事務用ハサミ★	3点
	大型フッ素コートハサミ★	1点
	ミニはさみ★	1点
	はがね爪切り★	1点
	開孫六ツメキリ・ヤスリセット★	1点
	つめ切り(開市販)★	1点
	開孫六ツメキリ type102★	1点
	開の葉★	1点
	レクシス両利きロング爪切り★	1点
	ピーラー★	1点
	ステンレス皮引き★	1点
	日本刀ベーパーナイフ織田信長モデル★	1点
	フランスS(4本)(カミソリ)★	3点
	フェザーFIIneo★	1点
	長柄赤SM10本入り★	3点
	日本刀はさみ(織田信長プレミアムモデル)★	1点
	日本刀はさみ(徳川家康モデル)★	1点

和紙	漉き舟	1点
	たねお、敷きづめ	1点
	黄(ス)	3点
	柗(ケタ)	2点
	馬鍬(マグワ)	1点
	刷毛	2点
	木槌	2点
	干し板	2点
	櫛(太子那須様)	1点
	竿(竹竿)、組	6点
	本美濃紙★	1点
	美濃和紙(6種類)★	2点
	扇子★	6点
	ピアス・イヤリング★	2点
	しおり★	4点
	短冊★	5点
		3点

山中和紙、岐阜和傘	櫛(コウソ)	1点
	山中和紙(6種類)★	6点
	ヒラガタ	1点
	ノリバケ、ノリタ、ノリザラ	3点
	張り用のヘラ等	7点
	エゴノキ	1点
	ロクロ(番傘用)上、下	2点

繰り込み後の傘	1点
糸	1点
締め輪	1点
竹切りノコ	1点
小刀	1点
竹ひご見本(鉋の目傘用)	2点
小骨突割器	1点
傘張り台、傘見本	3点
収傘和傘★	4点

岐阜提灯	巻き台・巻き見本	2点
	張り台・張り見本	2点
	張型	1点
	ノリバケ、ノリタ、ノリザラ、ナゼバケ	4点
	宿込み用具	4点
	宿込み用具(ボタンバケ)	3点
	カギバリ	1点
	ヘラ	1点
	カミソリ	1点
	ツケサシ	1点
	あかり3Aをつくる道具	11点
	大内行灯★	1点
	御所提灯★	2点
	提灯(AKARI)★	6点

美濃焼	小刀	1点
	寒風呂	1点
	磁(きぬた)	1点
	窯道具(ソク、櫛板)	10点
	粘土彫刻道具	9点
	しっぴき	3点
	絵付け道具(筆、乳鉢等)	20点
	手回しロクロ	1点
	ロクロボセ	3点
	モロ板	1点
	皿鉢(サヤ)	4点
	ひっかき棒(鉄製)	2点
	施釉道具	25点
	乾写紙	1点
	石膏型	3点
	志野茶碗(昭和) 荒川豊蔵作★	1点
	瀬戸黒茶碗(2002年)加藤孝造作★	1点
	SEBASTIAN CONRAN GIFU COLLECTION★	10点
	FUDOH 天目 ちよく★	2点
	管置き★	5点
	ストロー★	2点
	ピアス・イヤリング★	6点
	素焼き茶碗★	5点
	磁器製品★	3点

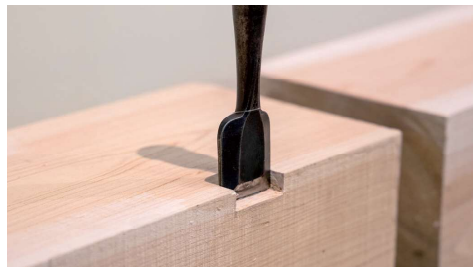
輪島塗(石川県)	鉋(曲物木地、朴木地)	2点
	引引	1点
	カンナ(椀木地)	1点
	外鉋	1点
	塗師小刀	1点
	籠(へら)	2点
	櫛皮笥(ひがわばら)	1点
	刷毛	4点
	フシ上げ棒	1点
	漉し馬	1点
	曲木地	2点
	コクソ粉、惣身粉、輪島地の粉、駿河炭	4点
	時給道具	9点
	沈金道具	7点
	コーヒーカップ★	2点
	丸盆★	1点
	輪島塗工程見本一式★	1点

ヨーロッパ	墨掛・定規	2点
	枠鋸	1点
	鑿	2点
	鉋	2点
	ボルト鋸	1点
	木槌	1点
	はつり斧	1点

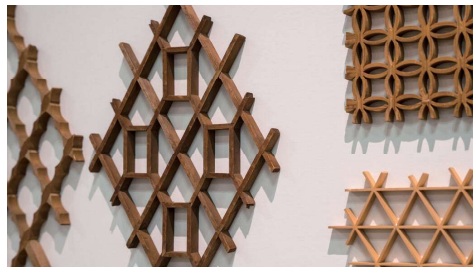
中国	墨掛・定規	2点
	鋸	2点
	鑿	3点
	鉋	4点
	鋸鋸	1点
	小斧	1点

★がついている項目は道具以外の展示物です。

- 荒川豊蔵資料館
- 石川県立輪島漆芸技術研修所
- 一般社団法人岐阜和傘協会
- 貝印株式会社
- 可見市
- 岐阜市歴史博物館
- 岐阜提灯協同組合
- 公益財団法人竹中大工道具館
- 関刀剣研磨外装等技術保存会
- 高山市
- 田中スタジオ
- 土岐市
- 日進木工株式会社
- 長谷川刃物株式会社
- 飛騨一位一刀彫協同組合
- 飛騨市
- 飛騨高山まちの博物館
- 飛騨みやがわ考古民俗館
- 本美濃紙保存会
- 美濃市教育委員会
- 美濃和紙の里会館
- 護山神社



- 石川県
- 一般社団法人技の環
- NPO法人ORGAN
- 神楽組
- 株式会社オゼキ
- 岐阜県刃物協会
- 公益財団法人セラミックパーク美濃
- 関鍛冶伝承館
- 高山建築組合
- 多治見市文化工房ギャラリーヴォイス
- 東濃西部広域行政事務組合
- 中津川市
- 日本陶磁器卸商業協同組合連合会
- 東山白山神社
- 飛騨産業株式会社
- 飛騨春慶連合協同組合
- 飛騨の匠文化館
- 福田刃物工業株式会社
- 美濃市
- 美濃手すき和紙協同組合
- 美濃和紙ブランド協同組合
- 有限会社八野大工



謝辞

本展の開催にあたり、御助力・御協力いただきました皆様(厚く御礼申し上げます)。(50音順 敬称略)